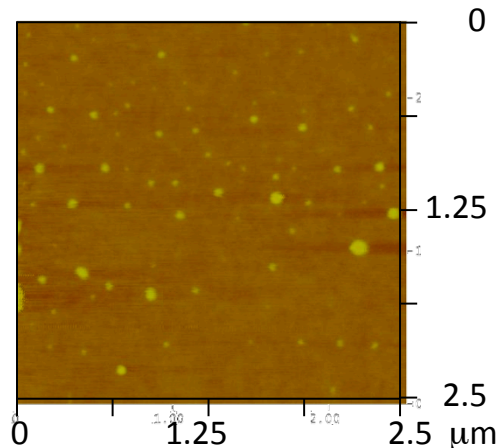


1. サンプルの準備を行う。溶液測定の場合は、溶媒に溶解しない接着剤等を選ぶ必要あり。
2. 本体とパソコンの電源をつけ、測定ソフトを立ち上げる。免震台の高さを中央に設定する。
3. スキャナーを一旦取り除き、サンプルのセットおよびスキャナーにプローブをセットする。
4. プローブをサンプルに近づけ、レーザー光の調整を行い、カンチレバーのチューニングを行う。
5. カンチレバーのチューニング後、エンゲージ（プローブがサンプル上に接地）を行う。
6. 測定範囲、走査速度を設定し、画像を取り込む。50  $\mu\text{m}$ を超える範囲でスキャンする場合は、1D Bow補正を加える。プローブおよびサンプルの損傷を防ぐため、スキャン後はすぐにエンゲージを解除する。
7. 解析画面を立ち上げ、必要な情報（高さや、表面粗さなど）を読み取る。高さについては、Height Sensor（スキャナ自体の高さを読み取ったもの）のデータを使用するのが良い。Height は電圧の命令（非線形）を高さに変換したもの。

※取り扱いの詳細は手順書を参照すること。不明な点はすぐに担当まで連絡すること。

0.005 mM



0.05 mM

